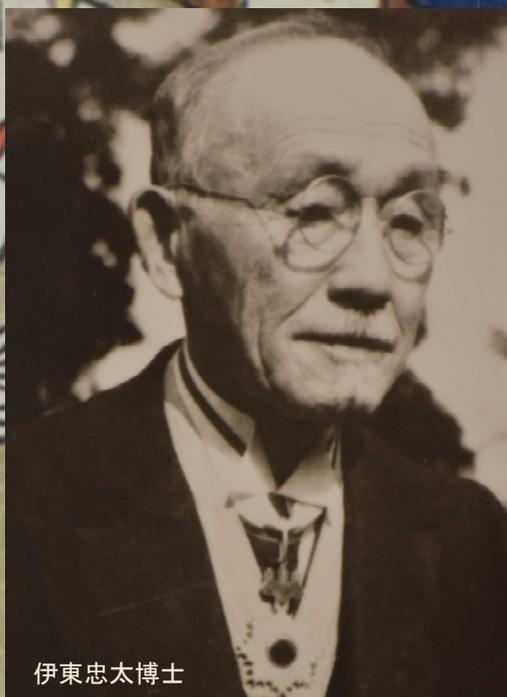


縣人文庫 伊東忠太 没後70年企画 記念講演・ドキュメンタリー上映会

入場無料



伊東忠太博士

妖怪を愛した建築巨人「伊東忠太」 ～没後70年「異形の建築家」の魅力を語る～

日時 令和 **7** 年 **2** 月 **9** 日(日) 午後1時30分～3時30分
(開場:午後1時15分)

場所 遊学館3階 第1研修室

定員 100名(※右の二次元コードから事前申込が必要です)

内容 (1)講演 (講師: 山下敦 「伊東忠太の会」代表)

(2)ドキュメンタリー上映

「妖怪を見た男～近代建築界の巨人 伊東忠太の世界～」(山形テレビ制作)
(解説: 庄司勉 制作ディレクター)



米沢市が生んだ近代建築界の巨人 伊東忠太(1867～1954)。日本を代表する建築家・建築学者としてのみでなく、日本画家・探検家・随筆家など、実に多彩な顔を持っていました。その極めつきが「妖怪漫画家」です。忠太の代表作である築地本願寺、一橋大学兼松講堂などには、多くの「妖怪」や「怪獣」の装飾が施され、彼の建築表現は謎に満ちあふれています。上映作品「妖怪を見た男」(山形テレビ2005年制作)では、日本建築学会や山形県立図書館などの協力のもと数々の資料を紹介し、「妖怪」をキーワードに忠太の建築思想の核心に迫ります。

